

## ☆小学部

将来中学から高校受験をお考えのお子様、または、日本へ帰国する際の公立中学校および私立の編入も視野に入れて、とりあえず高校入試に標準を絞っているお子様のためのクラスです。CJS 中学部や日本の公立中学校へ進学する場合は、小学校の学習内容をしっかり身につけておくことが一番大事なことです。学習習慣の確立と学習能力の向上を目指します。また、小5や小6で学習する内容は中学での学習の土台となっているものがほとんどです。そのためいかに小学生のうちに基礎学力を充実させるかが中学での成績伸長の鍵を握っています。

学年	科目	曜日・時間(チカラン)
小3	算数・国語	木 15:50~17:30
小4	算数・国語	月 15:50~17:30
小5	算数・国語	土 13:00~14:50
小6	算数・国語	土 13:00~14:50
小1~小6	個別授業 《定員1名》 《定員2名》	お問い合わせ下さい

○年6回のスタンダードテスト(教育開発出版)を実施します。

○各教科2名迄1科目の受講も可能です。

### ◇算数

の学力は、そのまま中学校への数学に直結するものです。中学の方程式でつまずく「速さや割合の文章題」、「図形」の感覚なども、小学生のときに基本がしっかり出来ていれば中学で困ることはありません。分数、平面図形、割合、倍数と約数、立体図形、速さ、比、比例はそのまま中学校の学習につながっていく重要な単元です。これらの単元をマスターすることは、中学で学習するさまざまな単元学習の理解を助けてくれます。授業では、基本事項の導入を終えた後は、解法を教え込む形ではなく、問題演習を通してその場で考え解法を理解するように組み立てます。また、図や表を用いて整理する思考方法を重視し、気付くことによって次のステップに進めるように指導します。

### ◇国語

では、物語文・説明文・詩・随筆文・論説文とさまざまな文章を扱い、文章を読める・理解できるようにします。さらに、これと並行して問題を「解ける」ようにする必要があります。これは自学自習ではなかなか身につくものではありません。実際に塾に来て、問題を解き、どのようなところに目をつけ、なにをてがかりに解答を導き出すのかを教わって身につくものです。また、小学校での勉強や読書ではどうしても説明的文章を扱う比重が軽くなりがちです。しかし、高校入試では説明的文章が多く出題されます。小5・小6のうちから説明的文章を多く取り扱っていくことは、高校入試を考えても必要なことです。国語の問題を解く上で必要なことは論理的な思考力です。本文中に書かれている解答根拠をしっかりと見極め、問題を解き進めることが要求されます。

## ☆ 中学受験

50年以上の歴史を持ち、中学受験のパイオニアとして名高い四谷大塚と提携し、その四谷大塚が「無理なく・無駄なく・ムラなく」をモットーに開発した教材「予習シリーズ」を使用します。予習シリーズという名前を聞くと、まるで自宅で自習しなければいけない教材のように思われるかもしれませんが、そうではありません。週末に行われるテストに向けて準備するという意味で“予習”という冠が付いているだけです。予習シリーズは小学生にも取り組みやすいように、理科・社会などは豊富な図版をフルカラーで載せています。また、毎年変化する入試の傾向に対応していくために、定期的なマイナーチェンジ・フルチェンジを行っています。まさに最新の情報が詰まった中学受験専用テキストです。

学年	科目・コース	曜日・時間
小4	算数・国語	火金 16:00～17:35
	理科・社会	土 8:40～10:30
小5	算数・国語	火金 15:45～18:15
	理科・社会	土 8:20～10:50

○2科目又は4科目のどちらかを選択してください。

## 小4からの週テスト(4月より実施予定)

四谷大塚 NET の週テストを毎週土曜日に実施します。日本と同じ試験を同じ日に受験できます。毎週の週テストの結果を、実施後 24 時間以内にスピード返却します。テストを受けても、結果がすぐにわからなければ、十分な復習を行うことはできません。四谷大塚 NET では、児童の解答用紙をデータ化し、素早く採点を実施。24 時間後には、ウェブの個人ページに結果が送信され、復習を行うことができます。

○週テスト《土》・組分けテスト《4年(土曜日)、5年(日曜日)》

学年	時間
小4	週テスト(土)13:10～14:40(2科目)
	組み分けテスト(土)13:00～14:30(2科目)、13:00～15:30(4科目)
小5	週テスト(土)13:00～14:50(2科目)、13:00～15:50(4科目)
	組み分けテスト(日)8:30～10:20(2科目)、8:30～11:50(4科目)

☞週テストは希望者に実施します。